みどころ

駅東周辺は巨大なマンションが林立し、図書館・子育て青少年施設を併設した「夢つながり未来館」も2011（平成23）年オープンし新しい街が完成。昔の街道「小野原街道」を南下して旧山田村に入ると「吹田千軒、山田千軒」といわれ、旧吹田村と肩を並べ、古くから大集落が営まれたところです。

現在も趣のある家が軒を連ね、昔の雰囲気を味わえる地区です。

吹田市都市景観賞を受賞した山田のまちなみ

③山田三ツ辻道標（どうひょう）

小野原、箕面に向かう「小野原街道」と豊中の岡町に向かう「山田街道」の分岐点を示しています。

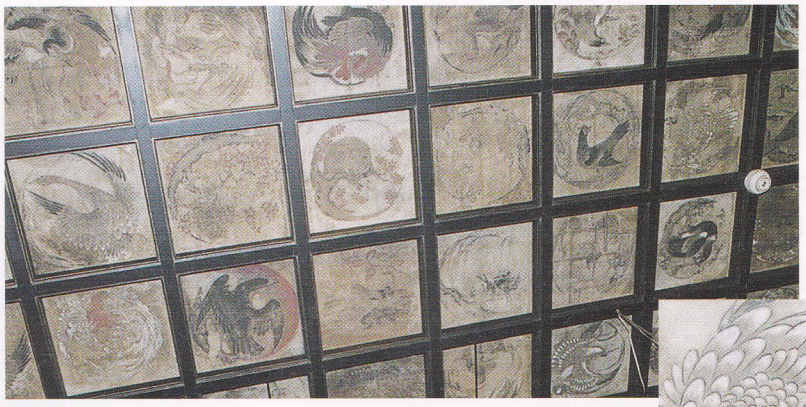
旧街道のなごりの道標

⑤石仏群

石仏16体が集めて祀（まつ）られています。

⑥旧竹中邸馬上門（ばじょうもん）

今は、マンションにとり入れられていますが、かつては馬に乗ったままで通れる格式ある大型の門とそれに続く長屋でした。わずかに残る松の並木が昔の面影を伝えています。



紫雲寺本堂内陣鳥獣画

⑦紫雲寺（しうんじ）

本堂内陣には、江戸時代後期に大坂で活躍した画家・森狙仙（そせん）の描いた天井画があります。78面あり、大多数が鳥で他に猿、竜、兎、亀、鳳凰（ほうおう）などが描かれています。内陣左右の金碧壁画（こんぺきへきが）を含めて大阪府指定有形文化財になっています。

（要申込み TEL 06-6877-0126）

⑧山田伊射奈岐神社（いざなぎ）

平安時代の延喜式（えんぎしき）に記載されている由緒ある神社です。現在の本殿は檜皮葺（ひわだぶき）五間社流れ造りで、江戸中期に建てられたもので大阪府指定有形文化財です。駐車場もあり、参詣者が多い神社です。

⑨安養寺（あんにょうじ）

石段を上りつめた静かな所にあるお寺です。花の咲く樹木が多く、椿・桜・紫陽花・ノウゼンカズラ・夏ミカンなど四季の花が入れかわり咲きます。

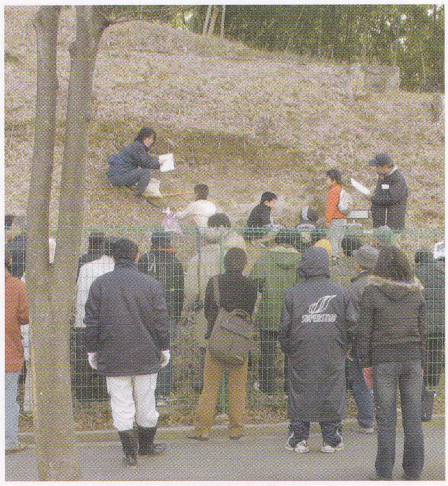
もみじの美しい庭のたたずまい

⑩圓照寺（えんしょうじ）

寺伝によりますと、創建は、9世紀・平安時代にさかのぼる歴史のある寺です。かつて寺域は現在の太陽の塔付近を中心に山田全域に及び、百余の堂坊がありましたが、応仁の乱により全焼したと伝えられています。

焼け残った准胝観音菩薩立像（じゅんていかんのんぼさつりゅうぞう）、日光・月光菩薩立像（がっこうぼさつりゅうぞう）は平安時代の作と考えられるもので、大阪府指定有形文化財になっています。

現在の本堂は1970（昭和45）年に再建されたものです。



⑪アズキ火山灰層の露頭

約90万年前に、大分県付近の火山爆発による火山灰が飛来したものです。この付近で50cmの厚さの層が見られます。